

令和6年 事業報告（R6年1月～R6年12月まで）

押し花合同会社 花ことば
代表社員 押川 亘

事業報告

当事業所は、8年目を迎えた。

昨年度に引き続き、ノロウイルス、胃腸炎、コロナウイルス、インフルエンザなどの感染症が1年を通して流行がみられたが、利用児童、職員ともに重症化することなく1年間過ごすことができました。また、感染症対策の消毒や換気も定着してきている。

外部研修が増えた1年で、都城療育研究会や県研修の案内も増加傾向にある。しかし、人員配置や時間帯などの課題から積極的な参加ができない状況であった。R7年度の目標として、人材を確保し、研修参加や事業所内での研修、学びが出来る環境作りに努めていきたいと考えている。

児童発達支援では、未就学児（保育園や認定こども園等に通園している子どもも含）に対して、季節行事に合わせた製作・クッキングを行い、季節を感じる事を中心に活動を行ってきた。利用児童が楽しく通う事を目標に、スケジュール以外の活動を取り入れるなどの工夫も取り組めたと感じている。

放課後等デイサービスでは、カードゲームを取り入れることやお友達と交渉をしたり、物を共有して過ごす事が増えた1年であったと思う。また、小学生の遠足を計画し、2日間にわけ、鹿児島フェリーと水族館に行く事が出来た。1日を通して外出支援を行う中で、買い物体験や水族館鑑賞など時間を見ながら行動することが出来、児童・職員ともに経験を積む事ができたと思う。

児童発達支援・放課後等デイサービスでは、言語聴覚士との個別療育を行っている。個別療育は、視覚的課題を言語化し、聴覚的刺激や語彙理解向上に努めること、発信することを認め、伝達することやコミュニケーション力を高めるよう努めている。言葉数が少なく、思いを訴える事が不十分な児童や発音の不明瞭さがあり、伝わらない思いをしている児童、行動で表現している子どもや目で訴えている児童に対して、代弁や言葉の使い方を示す事でやり取りができる事を伝えるよう支援を行ってきた。

保育所等訪問支援は、言語聴覚士が訪問している。集団生活の中で子どもが困っている先生の指示が伝わらない、言語表出が苦手など困り感や苦手としているところに対して支援方法について検討や助言している。曾於市や都城市で通所が難しい児童への介入を基本として動いている。

◎多機能型事業所

児童発達支援事業		
対象者	未就学児	1日4～6名受け入れ
定員	放課後等デイサービスと合わせて 10名	
営業曜日、時間	月・火・水・木・金・土	9：00～17：00

放課後等デイサービス		
対象者	就学時（18歳未満）	1日4～6名受け入れ
定員	児童発達支援と合わせて10名	
営業曜日、時間	月・火・水・木・金・土	15：00～17：00

※夏季休暇などの学校休業日は上記に限らない場合有り

保育所等訪問		
対象者	未就学児、18歳以下の児童	
定員	制限なし	約30名/月
営業曜日、時間	月・火・水・木・金	9：00～17：00